

科目名		デッサン実習1							年度	2024
英語科目名		Drawing Practice 1							学期	前期
学科・学年		マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース 1年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員		山内唯志 田中良太		教員の実務経験		有	実務経験の職種		デッサン指導員	
【科目の目的】 この科目では、学生が、紙という二次元に、鉛筆によって三次元空間を表現するための様々な技術を身につけ、今まで学んできた技術をさらに向上させることがねらいである。プロの目に留まるようなポートフォリオに入れられる作品レベルを目指す。										
【科目の概要】 鉛筆デッサンの応用力を高めるために、陰影の法則、基本的な形態のデッサンから展開する。後半は応用的課題で身につけた基礎を確認する。基本的に2週で1課題というペースで授業を進める。										
【到達目標】 A 観察力を養い、細かいディテールや特徴を捉える力を身につける B 基本的なデッサンスキルを身につけることができ、正確でリアルな描写ができる C ドローイングのスキルを身につけ、ポーズや動きを正確に捉える										
【授業の注意点】 課題提出締め切り日を厳守してください。社会への移行を前提としたマナーで授業に参加してください。 授業内での作業が基本です。 当授業の課題は最低数であり、より高度な技術や真剣に就職を考える生徒には個別で課題を展開します。 状況により授業内容が変更になる場合があります。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力			
到達目標 A	観察力を養い、細かいディテールや特徴を捉える力を身につける		観察力を養い、ある程度ディテールや特徴を捉える力を身につける				観察力を養い、ある程度ディテールや特徴を捉える力が不足している			
到達目標 B	基本的なデッサンスキルを身につけることができ、正確でリアルな描写ができる		基本的なデッサンスキルを身につけることができる				基本的なデッサンスキルが不十分			
到達目標 C	ドローイングのスキルを身につけ、ポーズや動きを正確に捉える		ドローイングのスキルを身につけることができる				ドローイングのスキルが十分ではない			
【教科書】 筆記用具、ノート、PC										
【参考資料】 入学時に購入したデッサン参考書など。個人で参照する資料として活用してください。授業では特に教科書に沿った内容は実施しません。										
【成績の評価方法・評価基準】 作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デッサン実習1				年度	2024
英語表記		Drawing Practice 1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	授業ガイダンス 画材の使い方レクチャー	受講の仕方、道具の使い方について知る	1	ガイダンス	鉛筆の削り方、道具の使い方	3	
			2	鉛筆削り			
			3	作画実演			
2	静物デッサン①	デッサンの工程や基礎を知る	1	静物デッサン	デッサンの工程や基礎を知る	3	
3	画材実習①	各種道具の様々な使い方、基本的な技法について知る	1	道具の使い方	各種道具の様々な使い方、基本的な技法について知る	3	
4	画材実習①	各種道具の様々な使い方、基本的な技法について知る	1	道具の使い方	各種道具の様々な使い方、基本的な技法について知る	3	
5	静物デッサン②	静物の表現方法について学ぶ	1	静物デッサン	静物の表現方法について学ぶ	3	
6	静物デッサン②	静物の表現方法について学ぶ	1	静物デッサン	静物の表現方法について学ぶ	3	
			2	講評			
7	静物デッサン③	静物の表現方法について学ぶ	1	静物デッサン	静物の表現方法について学ぶ	3	
8	静物デッサン③	静物の表現方法について学ぶ	1	静物デッサン	静物の表現方法について学ぶ	3	
			2	講評			
9	手のデッサン①	手の描き方を学ぶ	1	手のデッサン	手の描き方を学ぶ	3	
10	手のデッサン①	手の描き方を学ぶ	1	手のデッサン	手の描き方を学ぶ	3	
			2	講評			
11	自画像デッサン①	顔の描き方を学ぶ	1	自画像デッサン	顔の描き方を学ぶ	3	
12	自画像デッサン①	顔の描き方を学ぶ	1	自画像デッサン	顔の描き方を学ぶ	3	
			2	講評			
13	想定デッサン①	想像上での表現方法を学ぶ	1	モチーフを想定してデッサン	想像上での表現方法を学ぶ	3	
14	想定デッサン①	想像上での表現方法を学ぶ	1	モチーフを想定してデッサン	想像上での表現方法を学ぶ	3	
15	想定デッサン①	想像上での表現方法を学ぶ	1	モチーフを想定してデッサン	想像上での表現方法を学ぶ	3	
			2	講評			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等